

別紙 1 【活動方針】

東京都立 高等学校 運動部活動に関する活動方針

学校における部活動の方針	本校の学校経営計画を踏まえ、「生徒にとって望ましいスポーツ環境を構築する」という観点に立ち、以下の方針を掲げる。 ① 知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育むべく、学習活動と部活動との両立を図る。 ② 部活動は、生徒の自主的・自発的な参加により、合理的でかつ効率的・効果的に取り組む。 ③ 部活動の運営に当たっては、顧問の指導の下、安全の確保を行う。
休養日等の設定方針	① 平日は、少なくとも1日休養日を設ける（休養日は、朝練習・昼練習等の自主練習も行わない） ② 週休日においても、原則として、少なくとも1日の休養日を設ける。また、大会等で週休日に連続2日活動した場合は、適切な休養日を設ける。 ③ 合理的でかつ効率的・効果的な活動になるよう、各運動部が、その競技特性・実施形態・部員数・施設等の状況を踏まえ、これまでの活動内容や方法を見直し、活動時間は、平日2時間程度、週休日等3時間程度とする。 ④ 長期休業期間中においては、原則として3日以上連続した休養日を設定する。
設置されている運動部活動名	
設置されている文化部活動名	
活動計画	【別紙2】のとおり

別紙2【活動計画】〔 後期吹奏楽 〕部

◇ 年間目標				
1 「競い合う」 …個人の力を高め、他と競い切磋琢磨します。多くの部員が在籍する本部では、各ポジションを競って獲得することになります。お互い競い合い高め合って欲しい。しかし相手を打ちのめすことが目標ではありません。高めた演奏で自分を他に認めてもらうこと。ライバルの心さえ魅了してしまう程の技術を磨くことが目標です。 2 「調和する」 …上記の目標と矛盾する様ですがそうではありません。競い合い高めた個人の力を束ね、協力して事を成し遂げる『和』の心を育てます。本部の足し算は必ずしも1（人）+1（人）=2（人）ではありません。調和の有無で2以下にも2以上にもなります。調和することで、自分も他も活かすことができます。 3 「完遂する」 …「成し遂げる、やり遂げる」。これを体験して自分のものにして欲しい。部活動に入部したなら引退になるまでやり遂げなければ次につながる達成感は得られません。やり遂げた体験が自分を強くし、自信をもたせ、ステップアップさせるのです。				
◇ 部員数			◇ 顧問名・部活動指導員名	
	男子	女子	合計	藤波 綾
4 年	1	8	9	川原 夏葉子
5 年	1	16	17	大島 かや子
6 年	1	18	19	荒川 高広
合計	3	42	45	杉森 瞳
◇ 活動日と活動場所				
【活動日】 週 5 日 【休養日】 毎週水曜日 と日曜日 【活動時間】 （平日） 15:40～17:40 （土曜授業日） 13:30～17:40 （週休日等） 9:00～12:00、13:30～16:30 【活動場所】 第2音楽室 その他教室				
◇ 大会等の主な記録			◇ 今年度の参加予定大会	
令和3年度	令和4年度	令和5年度	○地区音楽大会	
吹奏楽コンクール 東日本大会 銅賞	吹奏楽コンクール 東日本大会 銅賞	吹奏楽コンクール B組 金賞	○吹奏楽コンクール	
アンサンブルコンテスト銀賞、銅賞	アンサンブルコンテスト銀賞、銅賞	アンサンブルコンテスト銀賞	(8月 日)	
			○アンサンブルコンテスト	
			(12月 日)	
			○定期演奏会	
			(4月16日)	

◇ 年間(月別)活動計画

4月	5月	6月	7月	8月	9月
(週休日の活動日数) 3 日	(週休日の活動日数) 1 日	(週休日の活動日数) 3 日	(週休日の活動日数) 1 日	(週休日の活動日数) 1 日	(週休日の活動日数) 2 日
練習 ●定期演奏会	練習	練習 ●野球部壮行会	練習 ●ほたる祭り ●合宿	練習 ●コンクール	練習 ●記念祭演奏
10月	11月	12月	1月	2月	3月
(週休日の活動日数) 3 日	(週休日の活動日数) 3 日	(週休日の活動日数) 3 日	(週休日の活動日数) 3 日	(週休日の活動日数) 2 日	(週休日の活動日数) 2 日
練習 ●高文連地区音楽 会	練習	練習 ●緑道コンサート ●アンサンブル発 表会 ●アンサンブルコ ンテスト	練習	練習 ●訪問演奏	練習